

令和5年度 交通信号監理士 実務試験解答

問1 (40点)

① (10点)

- A：高所作業車からの作業員の墜落
- B：玉掛け不良による吊り荷の落下
- C：地下線共同溝内の作業員の酸素欠乏 等

② (10点)

- A：作業床内での墜落制止用器具のランヤードフックを必ず掛けるように指導する。
- B：玉掛け資格所有者に作業させるとともに、地切りでのバランスを確認する。
- C：作業開始前に酸素濃度の確認を行い18%以上であること確認し記録する。また送風機を設置し、作業中は常時外気を送り込むとともに、常時酸素濃度を測定し、作業主任者が随時確認する。 等

③ (10点)

- A：道路工事業者と作業場所が競合するため、工程調整が重要と考えた。
- B：機器の納入が大幅に遅れるため、機器設置の工程調整が重要だと考えた。 等

④ (10点)

- A：道路工事業者との工程調整を週2回以上行い、作業日が重ならないように調整する。
- B：機器取付以外の作業を前倒しすることにより、工程に影響しないようにする。 等

問2 (1正答20点×3＝60点)

- ・1号柱、5号柱の車両アームが3.0Mなので鋼管柱を太径のSP190に建替え
- ・架線ケーブルが主道路を複数横断しているので3～4号柱の架線をやめ、4～5号柱に張り替える。5～6号柱の架線を10Cに張り替える。
- ・視認性向上のため、車両灯を両面灯に増設する。
- ・右折渋滞解消のため右折矢印灯を増設する。
- ・制御機柱の端子箱の端子に余裕を持たせるために、1号柱の端子箱を20Tに交換する。